



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 S Dエンターテインメント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4650 URL <https://sdentertainment.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）塩田 徹
問合せ先責任者 （役職名）経営企画部長 （氏名）谷口 正諭 TEL 011-860-2525
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,242	12.1	△7	—	△17	—	△30	—
2026年3月期第1四半期	1,108	22.2	△123	—	△132	—	△108	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △30百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △107百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△3.43	—
2026年3月期第1四半期	△12.09	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	4,615	1,772	38.4	197.92
2026年3月期	4,693	1,802	38.4	201.31

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 1,772百万円 2026年3月期 1,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 （予想）		0.00	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,300	2.8	350	386.6	280	537.4	150	△30.5	16.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	8,997,000株	2026年3月期	8,997,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	42,989株	2026年3月期	42,989株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	8,954,011株	2026年3月期1Q	8,954,011株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇や人件費の増加、人手不足の影響が続く、個人消費やサービス需要の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、ウェルネス事業を中心に、収益力の向上と事業基盤の拡充に取り組んでまいりました。前年に開所した就労継続支援B型事業所の売上寄与により、当第1四半期連結累計期間において売上高は前年同四半期を上回りました。当期においても、就労継続支援B型事業所の新規開所に加え、ピラティススタジオや既存フィットネス店舗におけるサービス提供体制の強化に取り組むとともに、保育事業においては親子英会話教室や各種プログラムの実施等を通じて、保育サービスの質と園の魅力向上に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12億42百万円（前年同四半期比12.1%増）、売上総利益は11億70百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業損失は7百万円（前年同四半期は営業損失1億23百万円）、経常損失は17百万円（前年同四半期は経常損失1億32百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億8百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

<事業部門売上高>

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	前年同四半期比 (%)
ウェルネス事業	1,135,471	119.7
(フィットネス)	209,874	97.1
(保育・介護等)	925,597	126.4
クリエイション事業	21,954	166.8
不動産賃貸事業	39,011	94.3
その他	46,542	44.0
合 計	1,242,980	112.1

(注) 1. ウェルネス事業は、フィットネス部門、保育・介護部門等の売上高であります。

2. クリエーション事業は、オンラインクレーンゲーム部門の売上高であります。

3. 不動産賃貸事業は、不動産賃貸部門の売上高であります。

4. その他は、コールセンター部門、カウネット代理店部門等の売上高であります。

(ウェルネス事業)

フィットネスは、ピラティススタジオ「スターピラティス」における店舗展開や指導者向けセミナーの開催、既存フィットネス店舗の設備更新等を通じて、利用環境の改善と収益力の向上に努めました。一方で、これらの施策による売上寄与は今後段階的に現れるものと見込んでおり、当第1四半期における売上高は前年同期比97.1%となりました。

保育・介護等は、前年に開所した就労継続支援B型事業所の売上寄与に加え、当第1四半期連結累計期間においても、札幌市1施設、仙台市2施設、草加市1施設、川崎市1施設、名古屋市2施設の計7施設を新たに開所し、事業所網の拡充に取り組みました。また、保育においては、親子英会話教室や「とうきょうすくわくプログラム」、親子イベント・保育参加等を実施し、保育内容の充実、保護者との接点強化および園の魅力向上に努めました。これらの取り組みにより、保育・介護等の売上高は前年同期比126.4%となりました。

以上の結果、ウェルネス事業の売上高は11億35百万円（前年同期比119.7%）となりました。

(クリエイション事業)

オンラインクレーンゲームは、定期的なイベントの開催や話題性のある景品投入等の施策を継続するとともに、海外向けサービスの展開を進め、収益機会の拡大に取り組みました。海外ユーザーの獲得が進んだこと等により、売上高は21百万円（前年同期比166.8%）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸は、安定収益の確保に向けたリーシング活動に取り組みました。一部テナントに係る契約条件の変更等の影響があったものの、新たなテナント獲得を進めるなど、収益改善に向けた取り組みを継続しております。以上の結果、売上高は39百万円（前年同期比94.3%）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社子会社が運営するコールセンター事業やカウネット代理店事業、EC事業等であります。前年同四半期にEC事業部門において一時的な売上計上があった影響により、売上高は46百万円（前年同期比44.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は16億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少しました。これは主に現金及び預金が38百万円増加し、売掛金が85百万円、未収入金が44百万円減少したことによるものであります。固定資産は29億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加しました。これは主に有形固定資産が25百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、46億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は20億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。これは主に買掛金が49百万円減少したことによるものであります。固定負債は7億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少しました。これは主に資産除去債務が11百万円、長期未払金が7百万円増加し、長期借入金が32百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、28億42百万円となり前連結会計年度末に比べ48百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は17億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を30百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は38.4%（前連結会計年度末は38.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月14日付「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,025,095	1,063,575
売掛金	387,314	301,329
商品	61,465	59,148
貯蔵品	10,847	10,230
その他	312,679	256,094
貸倒引当金	△1,465	△1,115
流動資産合計	1,795,936	1,689,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,208,591	1,127,351
土地	1,117,148	1,117,148
その他（純額）	108,866	215,107
有形固定資産合計	2,434,606	2,459,608
無形固定資産		
のれん	76,337	74,023
その他	9,984	8,873
無形固定資産合計	86,321	82,897
投資その他の資産		
差入保証金	304,740	297,760
繰延税金資産	22,849	38,809
その他	49,215	46,710
投資その他の資産合計	376,805	383,280
固定資産合計	2,897,732	2,925,786
資産合計	4,693,669	4,615,050
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,989	94,573
短期借入金	1,260,000	1,260,000
1年内返済予定の長期借入金	135,788	133,988
未払法人税等	78,157	31,056
未払消費税等	21,724	1,030
賞与引当金	62,533	110,455
株主優待引当金	17,000	17,000
その他	361,022	396,653
流動負債合計	2,080,215	2,044,756
固定負債		
長期借入金	596,286	563,589
繰延税金負債	23,073	24,256
資産除去債務	140,509	151,867
その他	51,015	58,406
固定負債合計	810,884	798,119
負債合計	2,891,100	2,842,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	808,245	808,245
利益剰余金	890,163	859,432
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	1,788,725	1,757,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,843	14,180
その他の包括利益累計額合計	13,843	14,180
純資産合計	1,802,568	1,772,174
負債純資産合計	4,693,669	4,615,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,108,888	1,242,980
売上原価	75,096	72,127
売上総利益	1,033,792	1,170,852
販売費及び一般管理費		
給料	415,082	468,089
賞与引当金繰入額	24,785	47,921
退職給付費用	2,511	2,225
株主優待引当金繰入額	711	1
地代家賃	126,252	136,649
その他	587,582	523,401
販売費及び一般管理費合計	1,156,926	1,178,288
営業損失(△)	△123,134	△7,435
営業外収益		
受取利息	16	53
受取配当金	15	15
受取保険金	297	236
受取返戻金	116	-
その他	71	624
営業外収益合計	515	928
営業外費用		
支払利息	8,948	10,229
その他	486	1,214
営業外費用合計	9,434	11,444
経常損失(△)	△132,053	△17,950
特別利益		
固定資産売却益	22	-
補助金収入	2,125	4,352
特別利益合計	2,147	4,352
特別損失		
固定資産除却損	736	914
店舗閉鎖損失	-	115
特別損失合計	736	1,029
税金等調整前四半期純損失(△)	△130,642	△14,628
法人税、住民税及び事業税	2,747	31,056
法人税等調整額	△25,178	△14,953
法人税等合計	△22,431	16,102
四半期純損失(△)	△108,211	△30,731
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△108,211	△30,731

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△108,211	△30,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	336
その他の包括利益合計	212	336
四半期包括利益	△107,998	△30,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107,998	△30,394
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	51,179千円	55,860千円
のれんの償却額	3,818千円	2,313千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計 算書計上額(注)3
	ウェルネス 事業	クリエーシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	948,535	13,158	41,370	1,003,064	105,824	1,108,888	-	1,108,888
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	6,015	-	-	6,015	69,642	75,657	△75,657	-
計	954,551	13,158	41,370	1,009,080	175,466	1,184,546	△75,657	1,108,888
セグメント利 益又は損失 (△)	△52,554	14	26,719	△25,821	△4,344	△30,166	△92,968	△123,134

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,968千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産における減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計 算書計上額(注)3
	ウェルネス 事業	クリエイシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	1,135,471	21,954	39,011	1,196,437	46,542	1,242,980	-	1,242,980
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	7,040	-	-	7,040	66,957	73,998	△73,998	-
計	1,142,512	21,954	39,011	1,203,478	113,499	1,316,978	△73,998	1,242,980
セグメント利 益	18,768	1,175	24,999	44,942	36,621	81,564	△88,999	△7,435

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△88,999千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産における減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。